

【AWS初心者向けWebinar】

Amazon Web Services料金の見積り方法

-料金計算の考え方・見積り方法・お支払方法-

2015年5月19日

アマゾンデータサービスジャパン株式会社



初心者向けWebinarのご紹介

- AWSについてこれから学ぶ方向けのWebinarです。
- 過去のWebinar資料
 - AWSクラウドサービス活用資料集ページにて公開
<http://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/>
- イベントの告知
 - 国内のイベント・セミナースケジュールページにて告知
<http://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/>
(オンラインセミナー枠)



内容についての注意点

- AWSクラウドのサービスは、ご利用いただいた時間や量により費用が変動する従量課金です。そのため、事前に料金確定見積を作成することはできない旨はご了承ください。
- 特に断りがない場合、本資料では2015年4月1日現在の東京リージョンの価格で説明しています。最新の価格は、オフィシャルサイト(<http://aws.amazon.com>)でご確認ください。
- 価格は税抜表記となっています。日本居住者であるお客様が東京リージョンを使用する場合、別途消費税をご請求させていただきます。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格とオフィシャルサイト記載の価格に相違があった場合、オフィシャルサイト(<http://aws.amazon.com>)の価格を優先とさせていただきます。

AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at <http://aws.amazon.com/agreement/>. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.

資料の対象

- AWSのメリットは理解できたが、
「料金計算方法がわからない」
「従量課金なのでいくらかかるかわからず不安だ」
という方
- 既存環境からAWSに移行するために概算料金を
算出しないといけない方
- お支払い方法などを知りたい方



本日の目次

- はじめに…
- 各サービスの料金について
- コスト削減オプション
- 概算算出方法
- お支払い方法
- まとめ



- **はじめに…**
- 各サービスの料金について
- コスト削減オプション
- 概算算出方法
- お支払い方法
- まとめ



AWSの特徴6つ

初期投資が不要



低額な利用料金



実際の使用分
のみの支払い



セルフサービスな
インフラ



スケールアップ
ダウンが容易



市場投入と
俊敏性の改善



いくらかかるかわからない？

初期投資が不要



低額な利用料金



実際の使用分
のみの支払い



セルフサービスな
管理

スケールアップ
が容易

市場投入と
価格性の改善

事前にある程度予測(概算イメージ算出)
出来ます！

AWSの豊富なサービス



Partner Network

Technology Partner / Consulting Partner

Ecosystem



Management & Administration



自動化とデプロイメント



データ分析



コンテンツ配信



アプリケーションサービス



コンピュー処理



ストレージ



データベース



ネットワーク



AWSグローバルインフラ



Regions / Availability Zones / Contents Delivery POPS

とりあえず、おさえておきたいサービス4つ

Amazon EC2



- 台数やスペックを柔軟に変更可能な**仮想サーバ** (有償ライセンスのOS選択も可能)
- 必要な時に、必要な台数を時間課金で利用可能



Amazon RDS



- マネージド**リレーショナルデータベース**サービス (代表的なDBエンジンに対応)
- 冗長構成、マスタ/スレーブ構成や自動バックアップなどご利用可能



とりあえず、おさえておきたいサービス4つ

Amazon EBS



- EC2にマウントする**ブロックストレージ**
- EC2に複数本アタッチすることも可能
- ストレージ容量やI/O性能を変更可能

Amazon S3



- 容量無制限の**オンラインストレージ**
- 自動的に複数DCに保存し、非常に高い耐久性を実現

世界中のデータセンター群(リージョン)

11のリージョン

1. US EAST (Virginia)
2. US WEST (N. California)
3. US WEST 2 (Oregon)
4. EU WEST (Ireland)
5. **JAPAN (Tokyo)**
6. South America (Sao Paulo)
7. ASP 1 (Singapore)
8. ASP 2 (Sydney)
9. GovCloud
10. BJS 1 (Beijing China) limited preview
11. EU (Frankfurt) <NEW>

28の Availability Zone

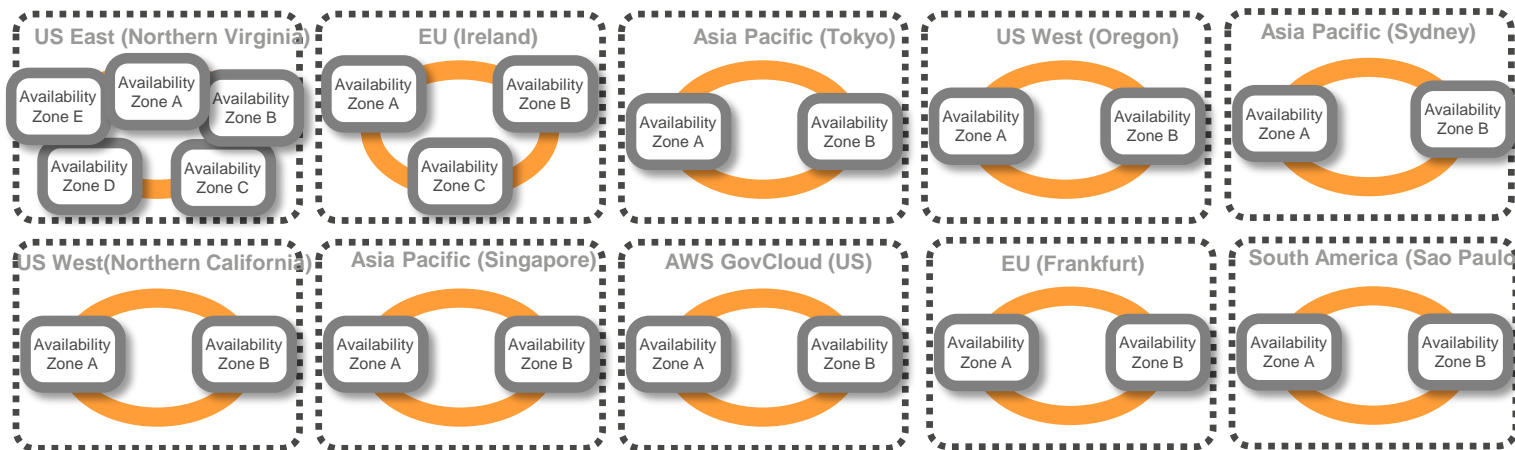
50以上の Edge Location



どのリージョンでも同じ使い勝手
同じやり方で日本から利用可能

リージョン=データセンタ"群"？

- Tokyoリージョンは2つのデータセンタ(AZ)
- 2つのAZを利用した冗長構成も簡単



* AZ=Availability Zoneの略
距離の離れたデータセンタ

- はじめに…
- **各サービスの料金について**
- コスト削減オプション
- 概算算出方法
- お支払い方法
- まとめ




主要サービスの価格

仮想サーバ  EC2 \$ 0.020~/1時間

データベース  RDS \$ 0.026~/1時間

ストレージ  EBS 1GB・1ヶ月**確保**で0.080\$~

 S3 1GB・1ヶ月**保存**で~0.033\$

データ転送
(ダウンロードのみ課金対象)



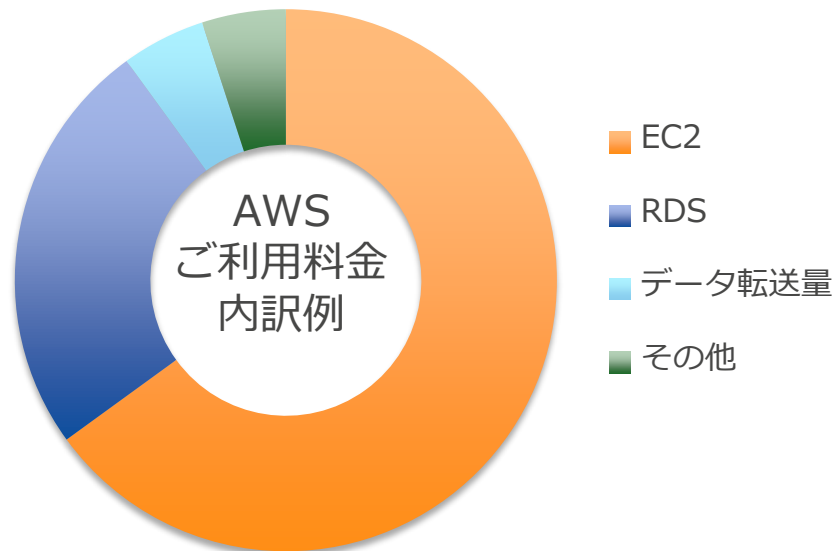
~\$0.140 / 1GB

いずれも使った分だけの従量課金

(2015年4月1日現在 東京リージョンの例)

ご参考:AWS利用料の一般的な内訳例

- ・一般的に「仮想サーバ/データベース」が毎月のご利用料金の**9割程度**を占めるケースが多い



様々な課金箇所があるが、サーバ/DB利用料、データ転送料が想定できれば、大体の金額は算出できます

当月料金の確認方法

- ・ 月内もアカウント請求コンソールで確認することが可能
 - 1日程度タイムラグあり
 - サービスごとの詳細も確認可能

The screenshot displays the AWS Billing console interface. At the top, there are navigation tabs for 'AWS', 'サービス', and '編集'. The main header reads '請求 & コスト管理ダッシュボード'. On the left, a sidebar lists various account management options. The central area features a '利用料の概要' section with a large display of the current month's bill amount, \$301.45, and a bar chart comparing it to previous months. To the right, there is a '今月の初めから今日までのサービス別利用料' section with a donut chart and a table listing the top services by usage.

ダッシュボード

- 請求書
- コストエクスペローラー
- お支払方法
- お支払履歴
- 一括請求
- アカウント設定
- レポート
- 設定
- クレジット
- 課税設定
- DevPay

請求 & コスト管理ダッシュボード

利用料の概要

AWS アカウント 請求コンソールへようこそ。先月、今月の初めから今日まで、および月末までの予測コストを以下に表示します。

過去 1 か月間の残高: 5 月 2015

\$301.45

月	金額
前々月	\$514.75
前月	\$301.45
今月	\$643.12

今月の初めから今日までのサービス別利用料

料金明細

次のグラフは各サービスの利用料比率を表しています。

- SupportBusiness
- EC2
- WorkSpaces
- RDS
- その他のサービス

今月の初めから今日までで最も利用料の多いサービス	金額
SupportBusiness	\$100.00
EC2	\$93.03
WorkSpaces	\$93.00
RDS	\$9.06

Billing Alert(請求アラーム)

- 利用状況を監視し、閾値を越えたら通知することが可能
 - 閾値を越えたらSimple Notification Service(SNS)にて通知
 - SNSの機能により、EメールやHTTP/HTTPS等での通知



アラームの作成

請求アラーム

請求アラームを作成すると、AWS の料金が選択したしきい値を超えたときに、メールアラームを受信できます。簡単な使用方法:

1. 使用料金のしきい値を入力します
2. メールアドレスを指定します
3. 受信箱を開いてメールを確認し、指定されているリンクをクリックします

今月の AWS の合計料金が

超過: \$ USD

通知の送信先:

アラームのプレビュー

このアラームは、青線が赤線を上に移動場合にトリガーされます

EstimatedCharges > 500

Time	EstimatedCharges
4/22 00:00	0
4/24 00:00	0
4/26 00:00	500

その他のリソース

- [AWS 請求コンソール](#)
- [請求アラームの使用を開始する](#)
- [請求アラームに関する詳しいヘルプ](#)
- [AWS の請求に関するよくある質問](#)

キャンセル [アラームの作成](#)

Amazon EC2(仮想サーバ)料金

使った分だけの従量課金



- **起動** 1時間単位の課金
 - たとえば2台を1ヶ月利用の場合は…
時間単価 × 24(時間) × 日数(30日など) × 2(台数)
 - 時間単価はインスタンスタイプ(スペック)によって異なる
 - 1時間未満も1時間にカウント

例 : t2.micro
2台を1ヶ月利用

$0.020\$(\text{時間単価}) \times 24(\text{時間}) \times 30(\text{日}) \times 2(\text{台}) = 28.8\$$

長期利用の割引もあり(後述)

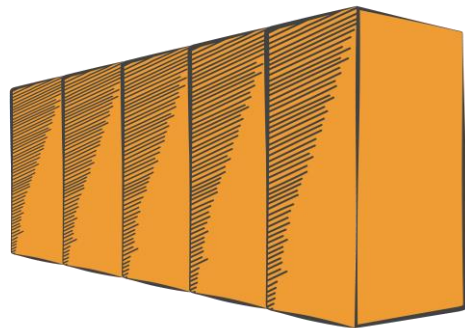
台数×時間

- 下記は同じ料金
 - 200台を2時間利用… 時間単価×200(台数)×2(時間)
 - 2台を200時間利用… 時間単価×2(台)×200(時間)

例 : t2.micro

$$0.020\$(\text{時間単価}) \times 400(\text{時間分}) = 8.0\$$$

- たとえば…100台のサーバを使って、1時間だけ計算処理をすることも可能



停止していれば料金はかからない

- サーバを停止してしていれば料金はかからない
 - たとえば開発環境で営業日の昼間のみ起動なら…
時間単価×8時間×20日(80%近くのコスト削減)
- ご注意
 - 起動していれば、実際にサーバを利用していなくても課金対象
 - EBS等の料金は発生(削除すればかからない)



スペックとライセンスにより単価が異なる

- スペックにより時間単価が異なる
 - WindowsやRHELなど有償ライセンス費用込みのものもある
- 時間単価イメージ

スペック/OS	Linux	RHEL	Windows
m3.large	\$0.203	\$0.263	\$0.302
m3.xlarge	\$0.405	\$0.465	\$0.603
m3.2xlarge	\$0.810	\$0.940	\$1.206

Amazon RDS(データベース)料金

データベース(RDS)も同様

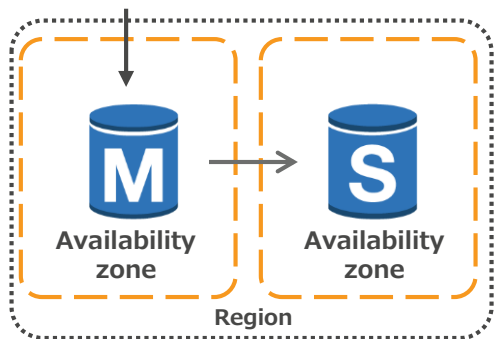
- 時間課金
 - スペックやライセンスにより単価が異なる
 - DBMSのエディションによっても単価は異なる
 - 既にお持ちのライセンスの流用も可、その場合単価は安くなります
- 時間単価イメージ(Single-AZ)

スペック/DB	参考 : EC2	RDS (MySQL)	RDS (PostgreSQL)	RDS (Oracle SE1)	RDS (SQL Server Web)
m3.large	\$0.203	\$0.240	\$0.240	\$0.490	\$0.415
m3.xlarge	\$0.405	\$0.485	\$0.485	\$0.980	\$0.830
m3.2xlarge	\$0.810	\$0.965	\$0.970	\$1.960	\$1.655

RDSのMulti-AZ構成

- Multi-AZ

- 異なるAZにスタンバイDBを準備し、可用性・耐久性を高める構成
- データ同期とトラブル時の自動フェイルオーバー
- 料金は2台分かかる



スペック/AZ	RDS (MySQL) SingleAZ	RDS (MySQL) MultiAZ
m3.large	\$0.240	\$0.480
m3.xlarge	\$0.485	\$0.970
m3.2xlarge	\$0.965	\$1.930

EBS(ブロックストレージ)料金

EBSは確保した容量が課金対象

- **確保した**容量が課金対象

- General Purpose(SSD)ボリュームの場合、月間 \$0.12/GB
- ボリューム形式によって単価と課金方法が異なる

例 : General
Purpose(SSD)
100GBを1ヶ月利用

$$0.12\$(\text{単価}) \times 100(\text{GB}) = 12.0\$$$

選べる3種類のEBSボリューム

- **General Purpose(SSD) : ①のみ**

- ①ストレージ料金月間 \$0.12/GB

これが基本

- **Provisioned IOPS(SSD) : ①+②**

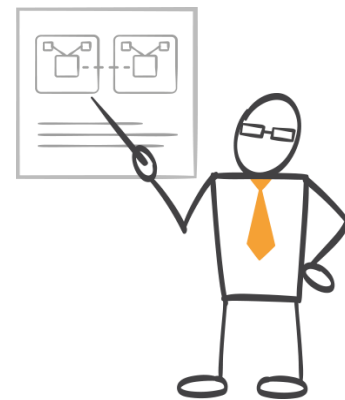
- ①ストレージ料金月間 \$0.142/GB

- ②設定したIOPS料金月間\$0.074/IOPS

- **Magnetic : ① + ③**

- ①ストレージ(月間 \$0.080/GB)

- ③I/Oリクエスト料金(\$0.080/100万I/O)



S3(オンラインストレージ)料金

S3は保存した容量が課金対象

- **実際に保存した**容量+I/Oリクエストが課金対象
 - 1GBを1ヶ月保存すると\$0.033
 - I/Oリクエストは単価が安いので、割合としては小さい
- 単価イメージ
 - 自動的に適用されるボリュームディスカウントあり

	最初の1TB まで	~50TB (次の49TB)	~500TB (次の450TB)	~1PB (次の500TB)	~5PB (次の4PB)	5PB以上
スタンダード	\$0.0330 /GB	\$0.0324 /GB	\$0.0319 /GB	\$0.0313 /GB	\$0.0308 /GB	\$0.0302 /GB

PUT,COPY,POST,LISTは\$0.005/1000リクエスト、削除は無料、GETその他\$0.004/10000リクエスト

2種類の堅牢性と価格

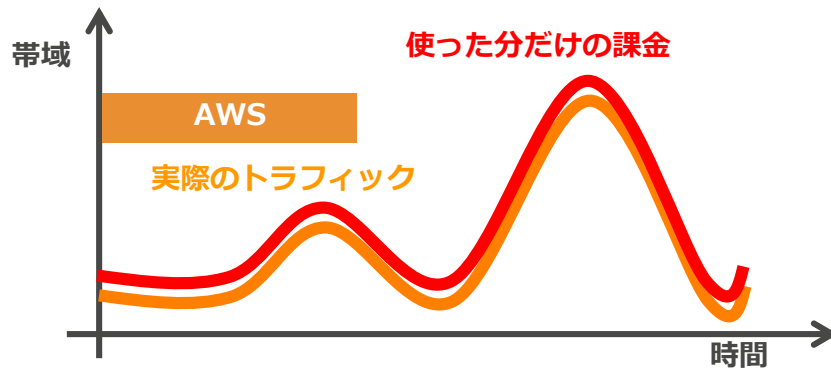
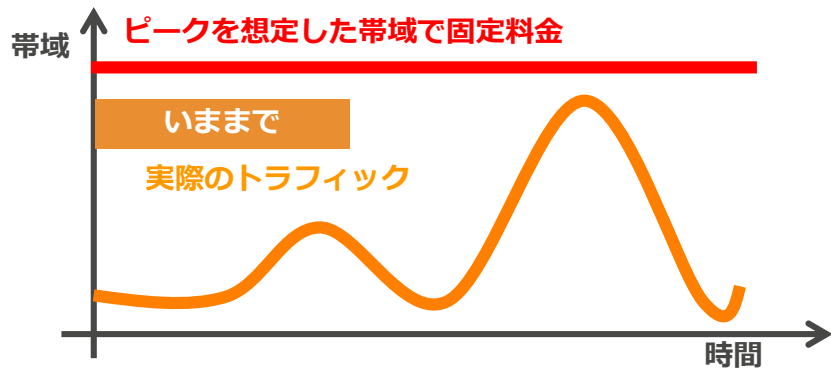
- スタンダード：
 - 99.9999999999% の堅牢性(設計値)
- 低冗長化ストレージ：
 - 99.99% の堅牢性(設計値)
- ストレージ料金イメージ(GBあたり)

タイプ	最初の1TB	~50TB (次の49TB)	~500TB (次の450TB)	~1PB (次の500TB)	~5PB (次の4PB)	5PB以上
スタンダード	\$0.0330	\$0.0324	\$0.0319	\$0.0313	\$0.0308	\$0.0302
低冗長化	\$0.0264	\$0.0259	\$0.0255	\$0.0250	\$0.0246	\$0.0242

データ転送料金

ダウンロードデータが課金対象

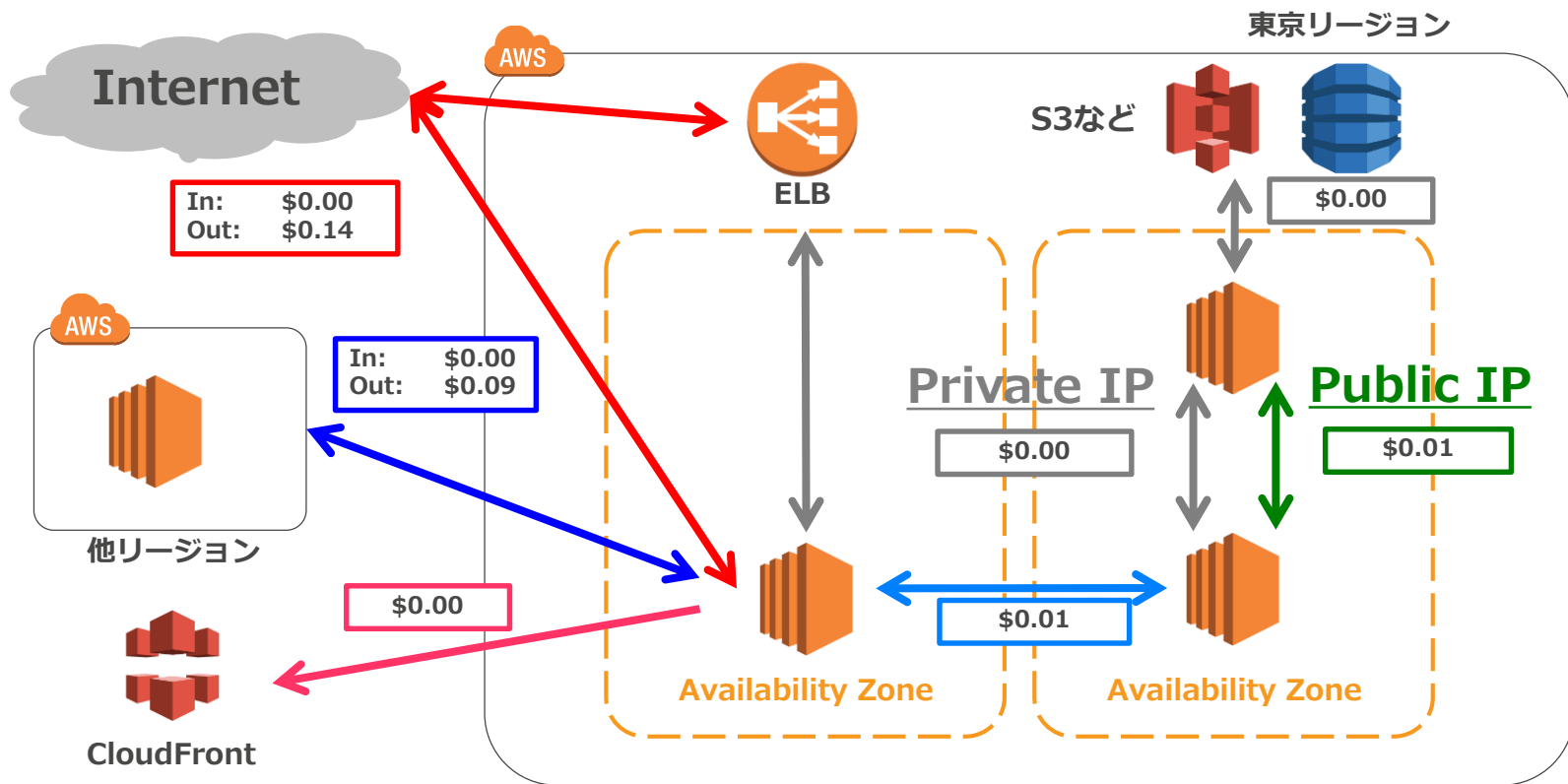
- AWS(各リージョン)からダウンロードされたデータが課金対象
 - 回線契約のような固定費用は無し
 - アップロードは無料



通信先により単価が異なる

- 東京リージョンから外へ
 - **東京リージョンからインターネットへは0.140\$/GB**
 - その他のリージョン(リージョン間通信)へは、0.09\$/GB
 - リージョン→CloudFrontは、無料
- リージョン内
 - 同一リージョン別AZ間は0.01\$/GB、AZ内は無料
 - AZ内でもEIPまたはパブリックIPへの通信は0.01\$/GB

料金イメージ



ボリュームディスカウントあり

- リージョン外通信は自動的に適用される
ボリュームディスカウントあり
- 通信料金料金イメージ(GBあたり)

最初の1GB	~10TB	~50TB (次の40TB)	~150TB (次の100TB)	~500TB (次の350TB)	~1PB (次の524TB)	1PB以上
無料	\$0.140	\$0.135	\$0.130	\$0.120	お問い合わせ	お問い合わせ

データ転送が多い場合はCloudFrontもご検討ください

参考 : CloudFront

- 各エッジからAWSオリジンへのキャッシュ取得時は通信料金が発生しない
- 予約容量(月間10TBから)で、大幅な割引を受けられる(お問い合わせ下さい)
- 通信料金料金イメージ(GBあたり)

~10TB	~50TB (次の40TB)	~150TB (次の100TB)	~500TB (次の350TB)	~1PB (次の524TB)	~5PB (次の4PB)	5PB以上
\$0.140	\$0.135	\$0.120	\$0.100	\$0.080	\$0.070	\$0.060

サポート料金

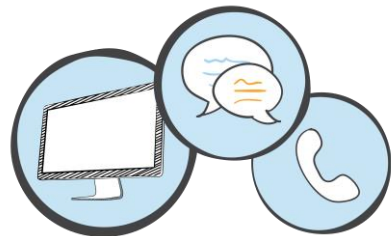
サポートプラン

- サポートも適切なプランを選択可能
 - サポートプランにより、連絡手段、応答時間などが異なる
 - 開発フェーズや必要に応じて、サポートプランの変更も可能



プラン	デベロッパー	ビジネス	エンタープライズ
サポートへの コンタクト方法	Webフォーム	電話、チャット Webフォーム	電話、チャット Webフォーム
対応時間	平日 9時-18時	24時間年中無休	24時間年中無休
初回応答時間	12時間 (営業時間内)	1時間	15分
問合せ可能回数	無制限	無制限	無制限
AWS Trusted Adviser	なし	あり	あり
専任スタッフ	なし	なし	あり

サポート料金

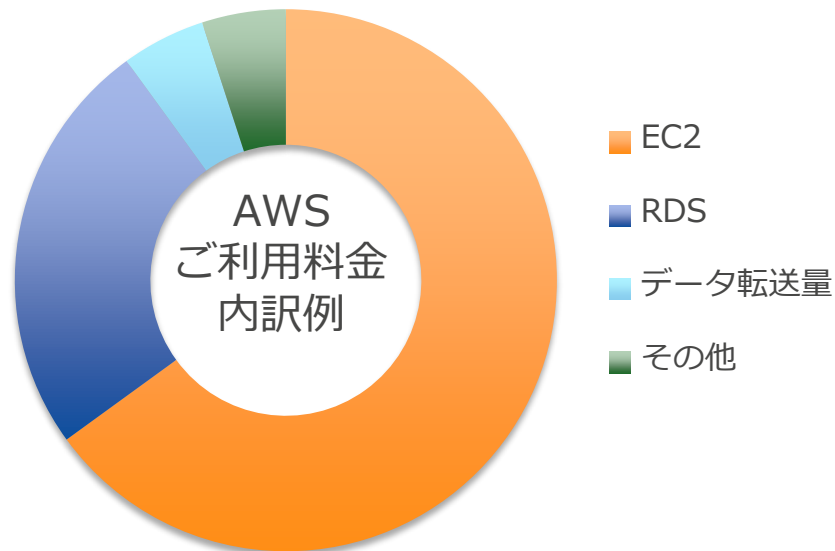


- デベロッパープランは固定料金
- ビジネスプランとエンタープライズプランは従量課金
 - それぞれ最低料金あり
 - AWSご利用が多い場合は、サポート費用のボリュームディスカウントもあり

プラン	デベロッパー	ビジネス	エンタープライズ
料金 (月額)	\$49	毎月のAWS 利用額の10% (最低\$100) AWS利用総額の \$10,000を超える分は7% さらに\$80,000を超える分は5% さらに\$250,000を超える分は 3%の支払い	毎月のAWS 利用額の10% (最低\$15,000) AWS利用総額の \$150,000を超える分は7% さらに\$500,000を超える分は5% さらに\$1,000,000を超える分は 3%の支払い

再掲:AWS利用料の一般的な内訳例

- ・一般的に「仮想サーバ/データベース」が毎月のご利用料金の**9割程度**を占めるケースが多い



様々な課金箇所があるが、サーバ/DB利用料、データ転送料が想定できれば、大体の金額は算出できます

- はじめに…
- 各サービスの料金について
- **コスト削減オプション**
- 概算算出方法
- お支払い方法
- まとめ



参考 : AWSでのコスト削減って？

クラウドネイティブな
設計

マネージドサービスの活用
インスタンスタイプの最適化
スタンバイ機などの見直し
運用自動化

割引オプションの活用

リザーブドインスタンス
スポットインスタンス
Cloudfrontのリザーブドキャパシティ
DynamoDBのリザーブドキャパシティ

リソースの
無駄チェック

EBS, Snapshot, EIP等々…

効果大



効果小

AWSの割引の仕組み①

- ご利用が増えると自動的に単価が安くなるもの
 - データ転送量やS3ストレージ料金など

	スタンダードストレージ	低冗長化ストレージ	Glacier ストレージ
最初の 1 TB/月	\$0.0330 /GB	\$0.0264 /GB	\$0.0114 /GB
次の 49 TB/月	\$0.0324 /GB	\$0.0259 /GB	\$0.0114 /GB
次の 450 TB/月	\$0.0319 /GB	\$0.0255 /GB	\$0.0114 /GB
次の 500 TB/月	\$0.0313 /GB	\$0.0250 /GB	\$0.0114 /GB
次の 4,000 TB/月	\$0.0308 /GB	\$0.0246 /GB	\$0.0114 /GB
5,000 TB/月以上	\$0.0302 /GB	\$0.0242 /GB	\$0.0114 /GB

- 随時行われる価格改定
 - 規模の経済・運用効率化による
 - サービス開始から40回以上の値下げ実績あり

AWSの割引の仕組み②

- ご利用オプションによる割引(時間課金)

– リザーブドインスタンス

(リザーブドキャッシュノード)



EC2



RDS



ElastiCache



Redshift

– スポットインスタンス



EC2



EMR

AWSの割引の仕組み③

- ご利用オプションによる割引(予約容量)

- CloudFrontのリザーブドキャパシティ
(リージョンごとに月間10TBから)



- DynamoDBのリザーブドキャパシティ
(リージョンごとに100ユニットから)



[NEW]最低予約ユニットが5,000から100になりました

リザーブドインスタンス概要

• 1年または3年の利用コミットによる キャパシティ予約と料金割引

- 予約時にアベイラビリティゾーン、インスタンスタイプ、契約期間、一時金の有無によるオフリングタイプなどの契約条件を指定(サービスにより指定条件が異なる)

• 権利の購入

- インスタンスIDの指定は不要
- 購入時のサーバ停止や再起動もない(無停止で適用可能)



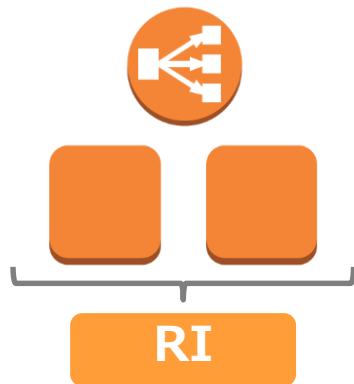
リザーブドインスタンスの想定ご利用シーン

- 常に起動しているDBやキャッシュサーバなど

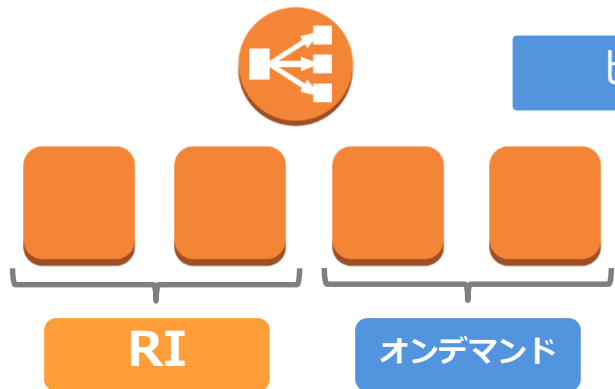


- 常に起動している分のWeb/Appサーバ
 - ピークに合わせてスケールアウトする分はオンデマンドで補う

通常時



ピーク時



- はじめに…
- 各サービスの料金について
- コスト削減オプション
- **概算算出方法**
- お支払い方法
- まとめ



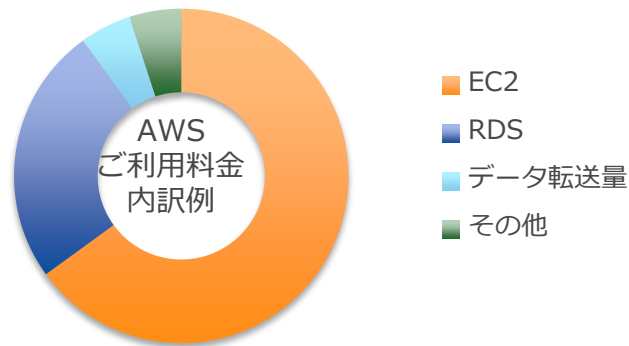
概算算出時のポイント

- サーバとDBのスペックと台数が想定できれば、
大体の金額は算出できる
- 物理環境と同じ感覚でサイジングしない
- マネージドサービスも積極的に活用
- 割引オプション活用と
ボリュームディスカウントを考慮する



概算算出時のポイント①

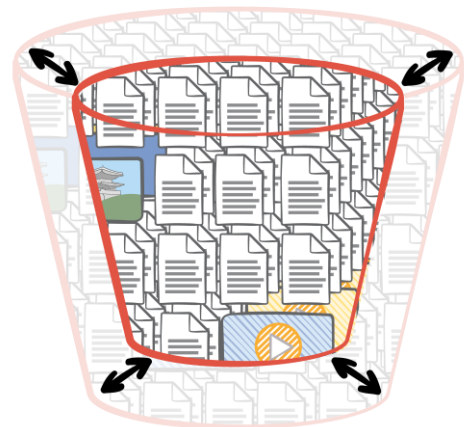
- **サーバとDBのスペックと台数が想定できれば、
大体の金額は算出できる**
 - 他に課金箇所は多数あるが、単価が小さいため、大きくは影響しない
 - **サーバとDBの時間課金×1.1~1.2**などで、概算は算出可能
 - 動画配信サービスなどの場合はデータ転送料も考慮



概算算出時のポイント②

- **物理環境と同じ感覚でサイジングしない**

- サーバやDBの台数やスペック、ディスクサイズなどは、いつでも変更できる
- 「3年後の成長を踏まえたスペックで…」などは不要
- 検証環境やスタンバイ機も常に用意しておく必要は無い



概算算出時のポイント③

- **マネージドサービスを積極的に活用する**
 - 構築コストや運用コストを大幅に削減出来る

Amazon RDS



- マネージドリレーショナルデータベースサービス (代表的なDBエンジンに対応)
- 冗長構成、マスタ/スレーブ構成や自動バックアップなどご利用可能

Amazon S3



- 容量無制限の**オンラインストレージ**
- 自動的に複数DCに保存し、非常に高い耐久性を実現

AWSの豊富なサービス



Partner Network

Technology Partner / Consulting Partner

Ecosystem



Management & Administration



自動化とデプロイメント



データ分析



コンテンツ配信



アプリケーションサービス



コンピュート処理



ストレージ



データベース



ネットワーク



AWSグローバルインフラ



Regions / Availability Zones / Contents Delivery POPS

AWSの豊富なマネージドサービス



Partner Network

Technology Partner / Consulting Partner

Ecosystem



Management & Administration



自動化とデプロイメント



データ分析



コンテンツ配信



アプリケーションサービス



コンピュー処理



ストレージ



データベース



ネットワーク



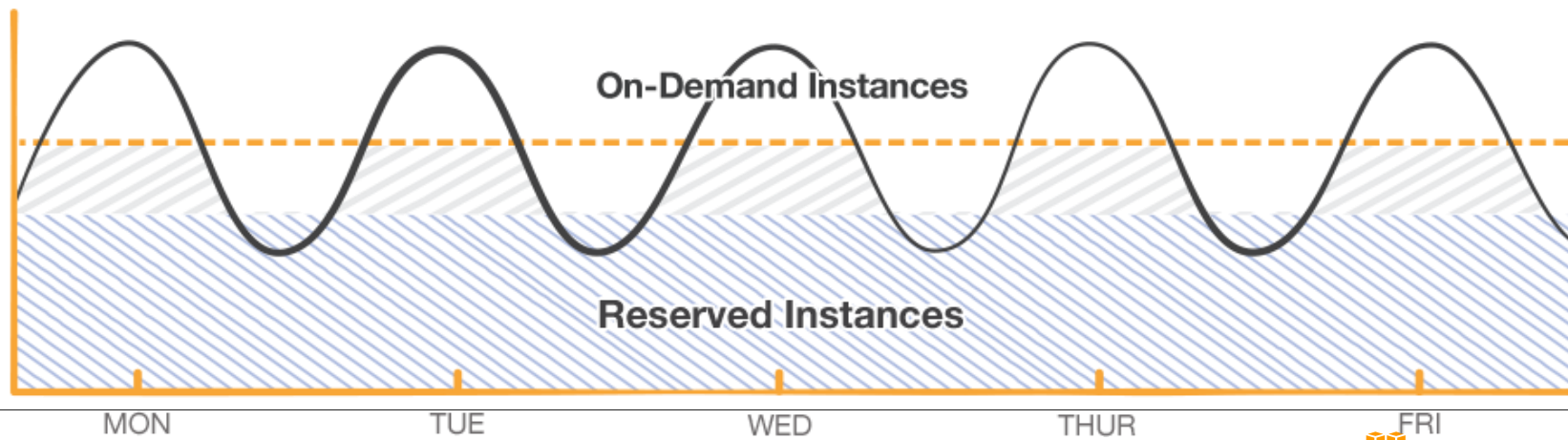
AWSグローバルインフラ



Regions / Availability Zones / Contents Delivery POPS

概算算出時のポイント④

- **割引オプション活用とボリュームディスカウントを考慮する**
 - 長期利用の場合はリザーブドインスタンスは、必ず考慮すべき



SIMPLE MONTHLY CALCULATOR

- AWSの概算料金試算ツール
 - 概算料金算出では、すべての項目を入力する必要はない
 - もちろん詳細な料金を計算することも可能



言語: Japanese

Need Help? [Watch the Videos](#) or [Read 'How AWS Pricing Works' Whitepaper](#)

AWS can help you reduce your overall IT costs in multiple ways. [Learn more about our Pricing Philosophy](#)

無料利用枠: 新規のお客様は最初の 12 か月間、無料利用枠をご利用いただけます。



サービス

お客様の毎月の請求書のお見積り (\$ 0.00)

よくあるお客様事例

リージョンの選択: アジアパシフィック (日本)

インバウンドのデータ転送は無料です。アウトバウンドのデータ転送は毎月リージョンあたり 1 GB が無料です。

AWS を用いた無料ウェブサイト

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) は、クラウド上で伸縮自在なコンピューティング容量を提供するウェブサービスです。開発者が簡単にスケーラブルなコンピューティング機能を提供できるように設計されています。Amazon Elastic Block Store (EBS) は Amazon EC2 インスタンスに永続的なストレージを提供します。

フォームのクリア

AWS Elastic Beanstalk のデフォルト

コンピューティング: Amazon EC2 インスタンス:

	説明	インスタンス	使用量	タイプ	料金計算オプション	月額コスト
+	新しい行を追加					

マーケティング用ウェブサイト

大規模ウェブアプリケーション (すべてオンデマンド)

メディアアプリケーション

ストレージ: Amazon EBS ボリューム:

	説明	ボリューム	ボリュームタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショットストレージ
+	新しい行を追加					

ウェブアプリケーション (欧州)

災害対策とバックアップ

Elastic IP:

追加 Elastic IP の数:

0

例：サーバ部分を簡易試算

- 簡易な試算ならこの程度でOK
 - タイプ(スペック)、料金計算オプション、使用率(基本は100%)
 - 下記例ではEBSボリュームも計算しています

全てリセット

サービス

お客様の毎月の請求書のお見積り (\$ 106.26)

リージョンの選択: アジアパシフィック (日本)

インバウンドのデータ転送は無料です。アウトバウンドのデータ転送は毎月リー

Amazon EC2



Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) は、クラウド上で伸縮自在なコンピューティング容量を提供するウェブサービスです。開発者が簡単にスケーラブルなコンピューティング機能を提供できる Block Store (EBS) は Amazon EC2 インスタンスに永続的なストレージを提供します。

Amazon S3

Amazon Route 53

Amazon CloudFront

Amazon RDS

Amazon DynamoDB

Amazon ElastiCache

Amazon CloudWatch

Amazon SES

Amazon SNS

コンピューティング: Amazon EC2 インスタンス:

	説明	インスタンス	使用量	タイプ	料金計算オプション	月額コスト
⊖	Webサーバ	1	100 使用率/月	Linux, m3.medium	1年間、一部前払い、	\$ 21.90
⊖	Appサーバ	1	100 使用率/月	Linux, m3.medium	1年間、一部前払い、	\$ 21.90
+	新しい行を追加					

ストレージ: Amazon EBS ボリューム:

	説明	ボリューム	ボリュームタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショットストレージ
⊖	Webサーバ用	1	汎用 (SSD)	20 GB	60	0 ストレージの GB-月
⊖	Appサーバ用	1	汎用 (SSD)	20 GB	60	0 ストレージの GB-月
+	新しい行を追加					

SIMPLE MONTHLY CALCULATORの詳細

- ご利用方法は下記資料も参照ください



AWS Simple Monthly Calculator (簡易見積ツール) 解説資料

2015年4月 更新版

目次

- AWS Simple Monthly Calculatorとは
- AWS Simple Monthly Calculatorを利用するには
- 基本設定
- Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)
- Amazon Elastic Block Store (EBS)
- その他 EC2/EBS関連
- Amazon Simple Storage Service (S3)
- Amazon Relational Database Service (RDS)
- Amazon Virtual Private Cloud (VPC)
- Amazon CloudFront (CloudFront)
- AWS Support
- 費用の確認方法
- 見積結果の共有
- データ転送量について
- 参考情報



© Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.



AWS Simple Monthly Calculator (簡易見積ツール) 解説資料 2015年4月 更新版
<http://www.slideshare.net/AmazonWebServicesJapan/aws-simple-monthly-calculator-20130910>

- はじめに…
- 各サービスの料金について
- コスト削減オプション
- 概算算出方法
- **お支払い方法**
- まとめ



原則クレジットカードでのお支払い

- 1ヶ月分のご利用を月末に集計して、翌月上旬にカード会社へ請求
 - 実際のお支払いは、カード会社の締め日およびお支払い日
- AWSからカード会社へは\$でご請求、カード会社からお客様へは円請求
 - VisaおよびMasterCardについてはカード会社への円請求も可能



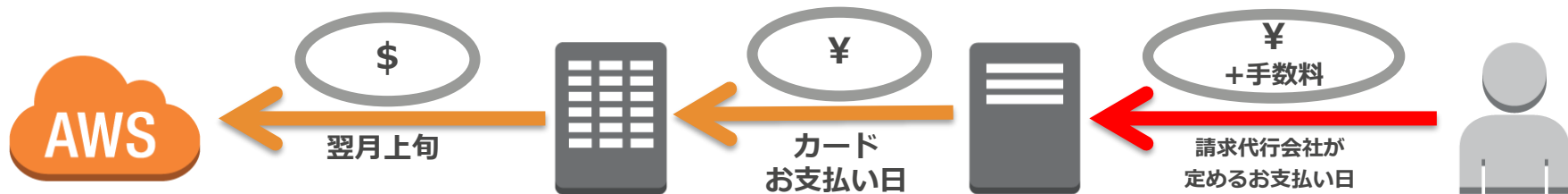
海外口座への海外送金払い

- お客様から、AWSの口座へ海外送金でお支払い
 - 1ヶ月分のご利用を月末に集計して、翌月上旬にお客様へメールで請求通知
- クレジットカード払いから送金払いへの切替には一定の条件あり
 - お問い合わせください



請求代行会社によるお支払い

- 請求書払いが可能
 - 1ヶ月分のご利用を月末に集計して、翌月上旬にお客様へメールで請求通知
- ただし手数料がかかることが多い
 - 請求代行会社が定める手数料
- 前払いのチケットを提供している会社もある



- はじめに…
- 各サービスの料金について
- コスト削減オプション
- 概算算出方法
- お支払い方法
- **まとめ**



まとめ

- AWSはご利用量に応じた従量課金ですが、**料金を事前に予測**することは可能です
 - ご利用金額を確認したり、閾値を超えたらアラートを上げることも
- 毎月のご利用のうち、**サーバとDB料金が大半を占める**ことが多いです
- クレジットカード以外の決済手段もございます
- お困りの際は、お気軽にお問い合わせください



お問い合わせ

- 検討中のシステムでいくらかかるか教えてほしい
- 支払方法について相談したい



[導入に関するお問い合わせ]

<http://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-sales/>

[既にご利用の方の課金・請求内容、アカウントに関するお問い合わせ]

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/>

Q&A

Q&A



[導入に関するお問い合わせ]

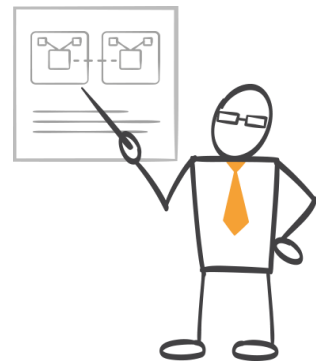
<http://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-sales/>

[既にご利用の方の課金・請求内容、アカウントに関するお問い合わせ]

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/>

参照リンク

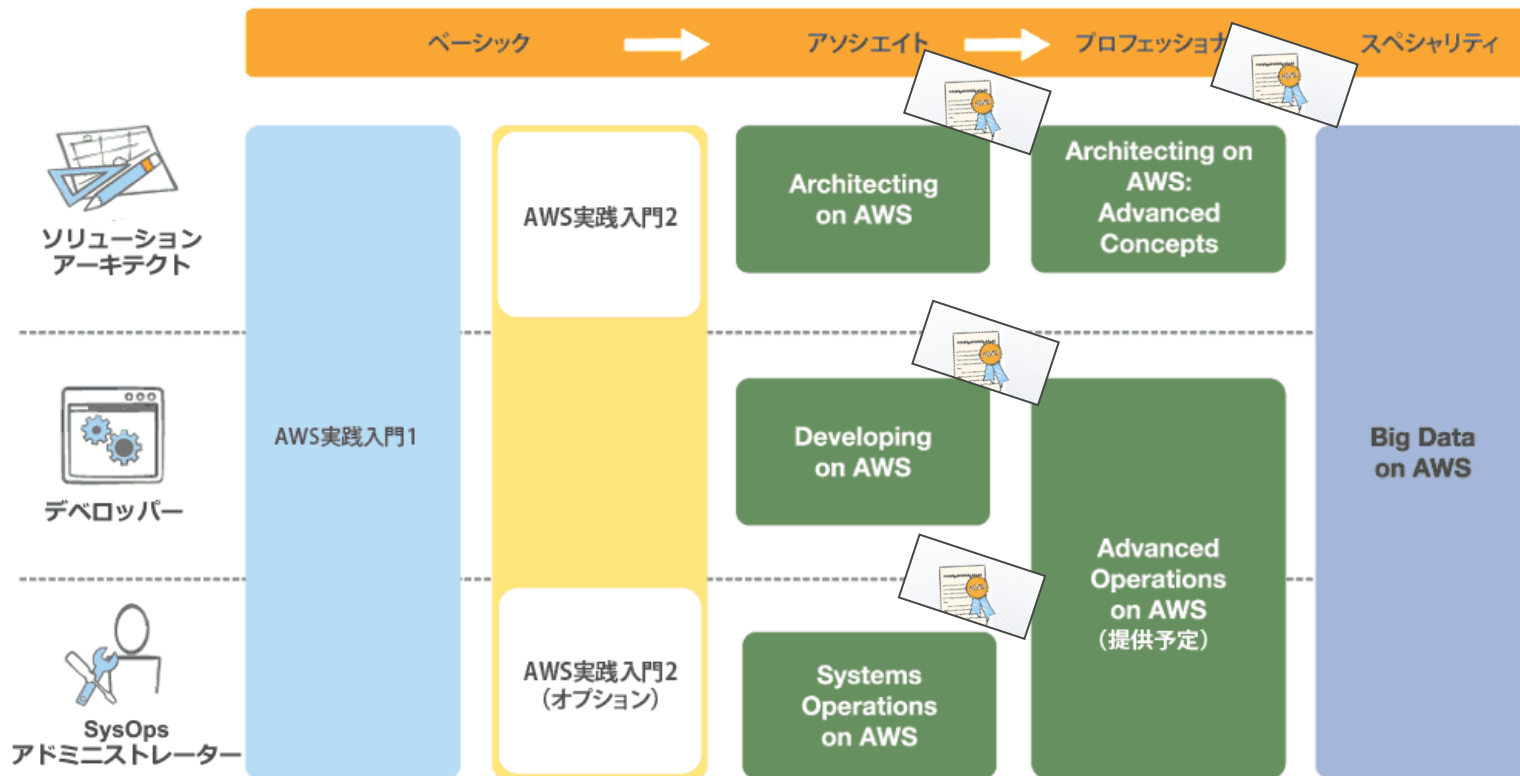
- AWSアカウント作成の流れ
 - <http://aws.amazon.com/jp/register-flow/>
- AWS コンプライアンス
 - <http://aws.amazon.com/jp/compliance/>
- AWSセキュリティ
 - <http://aws.amazon.com/jp/security/>
- AWSクラウド活用資料集
 - <http://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/>
- 国内のお客様のAWS活用事例
 - <http://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/>



AWSをより深く理解したい方向けに クラスルームトレーニングを提供しています。



認定資格試験



詳細: aws.amazon.com/training

公式Twitter/Facebook AWSの最新情報をお届けします



@awscloud_jp



検索



もしくは <http://on.fb.me/1vR8yWm>

最新技術情報、イベント情報、お役立ち情報、
お得なキャンペーン情報などを日々更新しています！

AWS初心者向けWebinar 2015

- AWSをこれからご使用になる方向け、ソリューションカットのオンラインセミナー
- 今後の配信予定
 - 6/9(火) 失敗例を成功に変える、AWSアンチパターンのご紹介
- 申し込みサイト
<http://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/>



AWS Black Belt Tech Webinar 2015

- AWS中上級者向け、サービスカット
- 今後の配信予定
 - 5/20(水) Amazon EC2 Windowsインスタンス
 - 5/27(水) Amazon RDS
- 申し込みサイト
<http://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/>

AWS Summit Tokyo 2015

クラウドで、未来を「今」に。

2015年 6月 2日 (火) ~ 3日 (水)

グランドプリンスホテル新高輪 (国際館パミール、飛天) | 来場無料 (要事前登録)

[申し込み受付開始通知メールに登録 >](#)

[AWS Summit Tokyo とは](#)

[提供されるセッションの一例](#)

[こんな方はぜひご参加ください](#)

[開催概要](#)

80 を超えるセッションを提供する2日間

